

ヴェンセスラウ・デ・モラエス
 ~Wenceslau de Moraes~

明治時代の中期に来日し、ポルトガルの在神戸・大阪総領事になったヴェンセスラウ・デ・モラエス(1854-1929)の作品と自筆書簡のコレクション。1897年にリスボンで刊行された『大日本』や、日本での生活した体験をもとにした『およねとこはる』などがある。さらに、徳島や神戸からマカオに発信した自筆書簡や葉書などは彼の人柄を知る上で重要なものである。



コレクション収録数 約40点

ご存じですか?

『Kenkyusha
 Online Dictionary』



今回は、今年度の4月から新たに導入した外部データベースである『Kenkyusha Online Dictionary (以下KOD)』を紹介します。このデータベースはこれまで本コーナーで紹介してきた「書誌情報データベース」や「記事検索データベース」と異なり、「オンライン辞書データベース」と呼ばれるものです。語学学習にとって辞書は不可欠な存在であり、皆さんも冊子体の辞書やコンパクトな電子辞書をよく利用されていることでしょう。これらの形態の辞書と「オンライン辞書データベース」との違いを踏まえつつ紹介していきます。

「オンライン辞書データベース」の特徴としてまず収録語が随時追加されていく点が挙げられます。冊子体やCD-ROM版では新しいものに買い換えないと新語や追加語を調べる事

ができませんが、オンラインならその必要がありません。この『KOD』も既に英和・和英併せて15,000語近い単語が追加されています。さらなる特徴として複数の辞書をまとめて検索することができる「マルチ検索機能」が挙げられます。単語1つにしても各辞書に収録されている意味やフレーズは異なりますので、この「マルチ検索機能」を使用することでその単語を多角的に捉える事ができるのです。『KOD』も「マルチ検索機能」に対応しており、『リーダーズプラス』、『新英和辞典』や『新和英大辞典』など様々な12の英和・和英辞典を収録しています。

このように「オンライン辞書データベース」の有効性を実践できる『KOD』は皆さんの語学学習の大きな力となることでしょう。図書館内のインターネット端末はもちろんのこと、学内の端末からも利用できますので、是非一度アクセスしてみてください。

(機械化推進委員会委員長 宮杉 浩)